

第 2 回 館山市議会定例会会議録  
(第 3 号)



1 平成6年6月21日（火曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1 番 秋山 光章  
3 番 島田 保  
5 番 宮沢 治海  
7 番 鈴木 順子  
9 番 脇田 安保  
12 番 岩村 勝弘  
14 番 小宮 利夫  
16 番 鈴木 勝美  
18 番 日下 君敏  
21 番 神田 守隆  
23 番 石井 昌治  
27 番 横溝 功

2 番 増田 基彦  
4 番 斉藤 実  
6 番 植木 馨  
8 番 永井 龍平  
11 番 山崎 雅己  
13 番 榎本 春光  
15 番 山中金治郎  
17 番 鈴木 忠夫  
19 番 川名 正二  
22 番 福原 勤  
26 番 辻田 実  
28 番 飯田 義男

1 欠席議員 2名

10 番 庄司二三男

20 番 生稲 陸

1 出席説明員

市長 庄司 厚  
収入役 川上 義雄  
総務部長 神子 純一  
経済部長 小沼 晃  
水道課長 谷貝 実

助 役 小幡 清之  
市長公室長 永野 修  
民生部長 渡辺 富雄  
建設部長 三平 孝司  
教育委員会 高橋 博夫  
教 育 長

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一  
書記 四ノ宮 朗  
書記 小山 真

事務局長補佐 鈴木 哲  
書記 安田 仁一  
書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第3号）

平成6年6月21日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第28号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第29号 工事委託協定の締結について
- 日程第2 議案第30号 平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 日程第3 { 請願第18号 消費税の税率引き上げ反対の意見書を求める請願書  
請願第19号 館山市議会議員定数削減に関する請願書

開 議 午前10時01分

◎議長(辻田 実君) 本日の出席議員数24名、これより第2回市議会定例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

#### 議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第1、議案第28号及び議案第29号の各議案を一括して議題といたします。

#### 質疑応答

◎議長(辻田 実君) これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

21番議員神田守隆さん。御登壇願います。

(21番議員神田守隆君登壇)

◎21番(神田守隆君) 議案の第29号、工事委託協定についてお尋ねをいたします。

館山市公共下水道中部汚水幹線管渠の建設工事について、随意契約により、千葉県下水道公社と1億8,200万円をもって館山市公共下水道施設の建設工事委託に関する協定を締結しようとするものでありますが、この内容につき

まして、説明書を読んだだけではよく理解できない点がございますので、御説明をいただきたいと思うのであります。

まず第1点は、この工事委託協定とは何かということであります。通常は工事の受注契約ということになりますが、下水道工事では工事委託協定であります。工事の受注契約とこの委託協定の違いについて御説明を賜りたいと思うのであります。工事に伴い、工事ミスが出たり、納期が守れなかったり、工事に伴うさまざまなミスの発生も当然起こり得ることと思うわけですが、こうしたミスに対して、この委託協定では委託先がどのように責任を負うことになるのか、委託先の責任について御説明いただきたいと思います。

次に、1億8,200万円の契約金額であります。この契約金額についてお尋ねをいたします。工事受注契約では、契約金額がそのまま工事の費用ということになるかと思ひます。委託協定では、それ以外の費用も契約金額の中に積算されていることになるかと思ひます。この1億8,200万円の積算にはどのような費用が計上されているのか、御説明をいただきたいと思ひます。

次に、この契約の相手先は財団法人千葉県下水道公社とのことあります。随意契約ということありますが、この財団法人千葉県下水道公社とはどのような性格の法人なのでしょう、その内容について御説明をいただきたいと思ひます。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（辻田 実君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

議案第29号、工事委託協定に關します御質問の小さな第1点目、工事委託協定とは何か、委託先の責任は何かについての御質問でござりますが、下水道幹線管渠工事及び現場の管理監督を一括して千葉県下水道公社に委託するものでござります。また、受託者でござります下水道公社の責任といたしましては、建設工事施行に伴う損害で下水道公社の責めに帰すべき原因によるものについては、受託者により負担することになっております。

次に、小さな第2点目、1億8,200万円の積算内容は何かについての御質

問でございますが、委託費用の積算内容といたしましては、中部污水幹線管渠 401メートル工事実施のための工事費及び千葉県下水道公社がこれを実施するために必要な管理諸費並びに消費税から構成されております。

次に、小さな第3点目、随意契約先の財団法人千葉県下水道公社とはどのような内容かについての御質問でございますが、財団法人千葉県下水道公社は、千葉県下水道の円滑で効率的な整備の促進及び千葉県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することを目的として、千葉県及び市町村の出資により、平成4年3月25日に設立されました公益法人でございます。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 21番。

◎21番（神田守隆君） いわゆる建設工事の受注契約と違って、委託契約ということで、建設工事及びそれにかかわる管理諸費用も負担し、それについての責任も委託先が持つということでもありますから、それはそれとして理解をいたします。

そこで、この公共下水道工事というのは短期に終わる性格のものではなく、今回も 401メートルということで、将来にわたって30年、40年という長期的な工事として、引き続きずっとこの工事は継続をしていくものだというふうに思います。そういうことでいくとすれば、当然こうした — 現在の館山市の中で、いわゆる管理、工事に係る管理部分についての技術力、指導力というものは現在のところないというふうに私も思っております。しかしながら、将来的には — 将来的というか、長期的に見た場合には、市自身がそうした技術力や管理力といいますか、そういったものを持って、市自身が直接発注をしていくというようなことも当然考えられることだと思うんです。そういう点で、市自身は今後の公共下水道の工事について — 直ちにというわけにいかない事柄もわかりますけれども、中長期的な見方としては、市自身が発注能力を持つような、そうした力を備えていこうというお考えがあるのかなのか、これはもう終末、一番最後まで全部この委託協定方式でいくというお考えなのかどうか、そこいらをお聞かせいただきたい。

それから、私がこの委託の場合のちょっと問題になるのではないかなと思

う点は、いわゆる刑法の談合罪との兼ね合いをどういうふうにお考えになるかという問題です。市が発注する工事であれば、これは談合があれば、刑法の談合罪が適用になりますから、直ちにそれで刑事上の責任が問われるということになるわけですが、これが財団法人千葉県下水道公社が工事発注をする、その段階で談合が行われた場合に、これはいわゆる談合罪——公の入札ということが談合罪の構成要件になっていますから、それに該当するというふうには理解できるのかどうか、その辺はどういうふうにお考えになっておるのか。また、それができないんだ、法律上そういうふうにならないんだということであるならば、談合問題等については一定の排除条項なりが契約上きちんとされておるのかどうか、その辺のお考えがどうかという点をお聞かせいただきたいと思います。

◎議長（辻田 実君） 三平建設部長。

◎建設部長（三平孝司君） まず、第1点目の長期的に今後委託でいくのかということですが、現在平成11年度を目指して、一部供用を開始しようということに進んでおるわけですが、幹線管渠につきましては千葉県下水道公社あるいは日本下水道事業団、面整備の管、いわゆる流末の管につきましては市で実施することとございます。これにつきましては、供用開始までの間に整備率を上げるということを目指しております。そういう観点からいきまして、今後このような方法で進んでいくのかということですが、処理場の建設工事につきましては、第1期工事につきましては日本下水道事業団、また幹線管渠につきましては、7メートルから9メートルぐらいの地下に汚水推進工法という特殊な工法で実施をいたします。今後市といたしましても、このような実績をよく見ながら、あるいはまた職員の研修等を図りながら、将来的には市の発注で進めていきたいというふうに考えております。

また、2点目の談合罪の関係でございますが、下水道公社の入札事務は千葉県の財務規則に準拠して実施をしております。また、館山市と下水道公社との工事委託協定の中に建設業務に関して知り得た秘密を他人に漏らしてはならないという守秘義務の規定も、18条ですが、設けてございます。なお、

談合情報が生じた場合には、現在千葉県で作成してございます談合情報マニュアルによりまして適正に処理するというふうに聞いてございます。また、談合等が明確になった場合には、告発を含め、そういうのを含めて適正に処理をしてまいりたいというふうに聞いております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 21番。

◎21番（神田守隆君） 今後は市としては技術力も持つようにして、市が直接発注できる分野をどんどんふやしていけるようにしたいということでありますから、総体として見れば、その方がやはり財政的に見ても効果のあることじゃないかなと私も思うんですが、これは一概に言えない問題もたくさんありますけれども、そういうことは大変大事なことだということなんですが、そこで――大体そこまでの詰めた議論がされているのかどうかかわからないんですが、どういう時期からこういう問題で具体的に検討されておるか。まだそこまで詰めてなければ詰めてないで結構ですけれども、そういう方向だということだけならそれでしょうがないんですけれども、その辺がどうかということと、それから今の御答弁で、契約上談合を排除するというような趣旨がうたってあるということでありましたけれども、ポイントは刑法の談合罪になるのかならないのかということなんです。公の入札という場合のこの公というものに財団法人の行う入札が適用になるというふうに法律上の解釈がされているかどうか。私も調べてみたけれども、どうもはっきりしないで、難しいんじゃないかなという私自身感じを持っているものですから、いや、そんなことはない、きちんと刑法の談合罪ということで構成できるという解釈が成り立つということならば、そういうふうにお答えいただきたいと思います。

◎議長（辻田 実君） 三平建設部長。

◎建設部長（三平孝司君） 第1点目の市の発注の時期でございますが、今までに市で工事を行ってきたわけなんです、汚水推進工法というのは初めてのケースでございまして、これから本年度事業を開始するわけなんです、そういうものを踏まえた上で、やはり現在の下水道室の技術者の養成、ある



いは各事業団、公社等に研修機関等がございますので、現場での研修、そういうのを含めまして、早い時期にやりたいというふうに考えております。

それと、談合罪の関係でございますが、刑法96条のたしか2項だと思えますが、公のというものがございます。これに該当するかどうかということでございますが、これについてはやはり当然司法の考え方にゆだねていくということになるかと思えます。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 以上で21番議員神田守隆さんの質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑はございませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となっております議案第28号及び議案第29号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

#### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第30号平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

#### 質疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

通告はありませんでした。御質疑はございませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となっております議案第30号は、お手元に配付の議案付託表のとおり、所管の常任委員会に付託いたします。

### 請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第3、請願第18号及び請願第19号の各請願を一括して議題といたします。

### 委員会付託

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各請願は、お手元に配付の請願付託表のとおり、所管の常任委員会及び議会運営委員会に付託いたします。

### 議長の報告

◎議長（辻田 実君） なお、この際申し上げます。

6月13日の議会運営委員会までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付表のとおり、所管の常任委員会に送付いたしましたので、御報告いたします。

### 延 会 午前10時20分

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明22日及び23日は委員会審査のため休会、次会は6月24日午前10時開会とし、その議事は議案第28号乃至議案第30号等にかかわる各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決といたします。

この際申し上げます。各議案等に対する討論通告の締め切りは6月24日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第28号乃至議案第30号

1 請願第18号及び請願第19号